

# 令和元年度第3回理事会

(令和元年11月18日開催)

## 議案書

議 題
-----

第1号議案 令和元年度中間事業報告・・・・・・・・・・1頁



## 1-2 フットサル指導員の派遣

予算40万円を計上した。令和元年10月末時点では、実施済みが3校となっている。

対象校	日時	担当者	備考	派遣者	往復派遣距離 ×30円	派遣費 (1日1万円)	派遣費合計	備考
北海道今金高等学校	7月2日(火) 12:30~18:00	海田教諭	・2年生体育授業、23名 ・部活動での指導	吉田	566km×30円= 16680円 高遠代 新川~函館 6080円×2= 12160円	1万×1人×2日 =2万	48840円	後泊後帰札
北海道札幌伏見支援学校	7月17日(水) 13:00~14:30	齊下教諭	授業	吉田	45km×30円 =1350円	3000円×1人 =3000円	4350円	日帰り
北海道札幌あいの里高等 支援学校	未定	笹本教諭	2年生体育の授業	未定	74km×30円 =2220円	3000円×1 人=3000 円	5220円	日帰り
北海道札幌あいの里高等 支援学校	未定	笹本教諭	2年生体育の授業	未定	74km×30円 =2220円	3000円×1 人=3000 円	5220円	日帰り
市立みねの杜高等支援学校	10月19日(土) 9:00~15:00	金子教諭	午前:サタースクール(授業) 午後:部活動	吉田	55km×30円 =1650円	3000円×1人 =3000円	4650円	日帰り
北海道紋別高等学校	未定	三木教諭		未定	638km×30円= 19140円 高遠代 新川~比布JCT 4820円×2= 9640円	1万×1人×2日 =2万	48780円	後泊後帰札予定
北海道札幌通学校(小字園 分校)	11月19日(火) 13:00~18:00	村田教諭		小野寺隆	708km×30円= 21240円 高遠代 新川~大沼公園 7590円×2= 15180円	1万×1人×2日 =2万	56420円	後泊後帰札予定
北海道北斗高等支援学校	12月5日(金) 13:00~18:00	戸倉教諭		小野寺隆	686km×30円= 20400円 高遠代 新川~大沼公園 7590円×2= 15180円	1万×1人×2日 =2万	55580円	後泊後帰札予定
北海道札幌高等支援学校	12月1日() 15:00~17:00	永井教諭		未定	43km×30円 =1290円	3000円×1人 =3000円	4290円	日帰り
市立みねの杜高等支援学 校	12月1日(金) 15:30~17:30	金子教諭	部活動 1、2年生まで	小野寺隆	52km×30円 =1560円	3000円×1人 =3000円	4560円	日帰り
北海道札幌高等支援学校	12月1日(金) 18:00~19:00	海田		小野寺隆	48km×30円 =1440円	3000円×1人 =3000円	4440円	日帰り
北海道札幌通学校	未定	村田	特別活動	未定				



## 2 定款第4条2のフットサル等競技会の開催・助成

### 1-1 2019第3回小野寺眞悟杯北海道特別支援学校フットサル大会の開催

予算350万円を計上した。支出合計は、2,828,043円であった。

北海道特別支援学校及び台湾台北市立啓聴学校全27校、選手総数190名、監督・コーチ80名、ボランティア100名、保護者等200名が出場・支援・応援した。

27校の内訳は、単置高等部校23校と併置中高等部校4校で、この2カテゴリーの大会として開催した。

## 2019 第 3 回小野寺眞悟杯北海道特別支援学校フットサル大会

北海道新聞 2019 令和元年 8 月 3 日(土) 朝刊 全道版掲載記事

### 支援学校生 豪快シュート 道内と台湾、27校がフットサル大会



フットサル大会でボールを追う特別支援学校の生徒たち

道内の特別支援学校生がプレーする「小野寺眞悟杯北海道特別支援学校フットサル大会」が2日、札幌市南区の真駒内セキスイハイムアイスアリーナで開かれた。今年は札幌市や函館市、十勝管内新得町などの26校に加え、台湾の学校も初め

て出場。中、高等部の男女計190人が懸命にボールを追った。大会は、札幌市手稲区の医療・社会福祉法人の代表が設立した障害者スポーツの振興団体が主催し、今年で3回目。この法人と交流のある台北市の啓聴学校が

ゲスト出場した。試合は高等支援学校(23校)と、中高等部併置校(4校)に分かれて実施。生徒たちは素早いドリブルや豪快なシュートを見せ、会場を沸かせた。高等支援は新篠津高等養護学校、中高等

部併置は帯広養護学校が、それぞれ優勝した。

(柳沢郷介)

### 3 定款第4条3のフットサル等スポーツ活動の調査・研究

#### 3-1 スポーツ活動に係る実践研究校の指定

予算60万円を計上した。計画は5校各10万円であったが、応募6校に各10万円の研究助成費を支出した。現在、中間報告書の提出を受け、12月末段階で研究成果を提出してもらい、当該論文を整理・編纂して「北海道特別支援学校 スポーツ研究成果報告書2019(No.3)」として発刊する予定。したがって、印刷費用10万円(300部印刷予定。)は他事業費の余剰分を活用する。

学校名	研究テーマ
北海道札幌高等養護学校	肢体不自由用ボッチャ支援器具の開発
北海道紋別高等養護学校	特別支援学校における男子新体操の指導～体験したことのない動きへの挑戦とボディイメージの向上～
北海道札幌あいの里高等支援学校	サッカー部の活動を通じた人間形成～自主性、協調性を育てる部活動～
北海道中札内高等養護学校幕別分校	スポーツをとおした地域参加を目指して ～部活動から生涯スポーツへ～
北海道八雲養護学校	神経筋疾患の児童生徒における主体的な授業の取組～eスポーツの実践を通して～
北海道拓北養護学校	遠隔システムを活用した北海道肢体不自由養護学校体育大会の試み

#### 3-2 研究成果報告会の開催

予算50万円を計上した。令和2年3月に開催する予定で会場を借り上げる北海道立特別支援教育センターと現在折衝中である。

### 4 管理費について

管理費予算は、200万円を計上した。10月末現在、578,917円である。

11月以降に予定する理事会及び評議員会開催に係る費用及び給与手当等を支出する予定である。

(令和元年10月末)

役員報酬	11,137円
給与手当	300,000円
旅費交通費	125,300円
消耗品費	38,260円
支払手数料	17,820円
委託費	86,400円